

宮城県の東日本大震災による津波被害の状況

県内の津波浸水面積は32,700ha、被災15市町面積の16%、県土面積の5%

1 津波の遡上高と浸水範囲

遡上高：三陸海岸の外洋に面する小規模な入江では20mを超え、仙台平野などの平野部においても10m程度におよびました。

浸水範囲：仙台平野など平野部では、海岸線から5km以上の内陸部まで浸水範囲がおよびました。

2 海岸部の被害

津波による海岸部の被害は、民有林807ha、国有林を含めると1,442haにおいて、海岸防災林が流出・幹折・倒伏する被害が発生しました。また、保安林を保全するための防潮堤や人工砂丘33kmのうち、19kmが被災しました。

宮城県名取市関上地区の被災前後の状況

被災前（平成13年9月）



被災後（平成23年3月）



宮城県石巻市長面地区の被災前後の状況

被災前（平成2年9月）



被災後（平成23年4月）



宮城県岩沼市相の釜・名取市北釜地区の被災状況

被災前（平成11年9月）



被災後（平成23年3月）

